

令和5年度  
学校法人 阿弥陀寺教育学園  
専門学校新国際福祉カレッジ  
事業報告

千葉県四街道市山梨 1316-1

学校法人阿弥陀寺教育学園

専門学校新国際福祉カレッジ

## 1. 法人及び学校の概要

### (1) 学校法人 阿弥陀寺教育学園「建学の精神」

- 一、生命への畏敬 生きて会う喜び、世界の友達
- 二、お世話になった人に心から有難うと言える感謝の心を持った人物の育成
- 三、国際交流・親善、共に生きる社会・共生、地域社会、国際社会への貢献
- 四、人をおもいやるやさしい心のある人物を育てる
- 五、我らの人生には夢あり希望あり、夢に生きる念願成就の人生行路を不退転で進もう
- 六、夢の叶う学園、子供・学生たちのコミュニテ笑顔広場
- 七、異文化 日本文化、仏教文化の理解・教養・学習

### (2) 学校法人の沿革

昭和 61 年 3 月 17 日学校法人阿弥陀寺教育学園設立認可  
平成 10 年 3 月 24 日専門学校新国際福祉カレッジ設置

### (3) 専門学校新国際福祉カレッジの教育ポリシー

:「教育テーマ」校訓

『優しさ・思いやり・感謝』

:「教育理念」

世代の壁を越え、かつグローバルな学び舎の中で学生の一人ひとりの個性に向き合い、誰もが分かりやすい学びの環境を提供し、介護福祉の専門性を育み、その学びを人生に活かすことができる教育を行います。

:「教育方針」(教育目標)

人を敬い、誠実で信頼できる人材を育てる。

・・・介護人である前に人間性が崇高であること

介護現場に即戦力になる職業人を養成する。

・・・介護の専門的知識・理論・技術の習得したプロであること

介護の専門職としての科学的な思考を育む。

・・・介護の専門性をもって介護実務の根拠が説明できること

## ：教育内容

・介護福祉学科 カリキュラム・ポリシー

介護福祉及び社会福祉分野における高度で専門的な実践能力を有する人材を育成するために介護福祉士養成課程の「介護」、「社会の理解」、「こころとからだのしくみ」の3つの領域による教育的アプローチによる実践的教育、倫理的教育、専門的教育で構成された教育課程を編成する。

### (4) 専門学校概要定員数

種別	専門学校
名称	専門学校新国際福祉カレッジ
所在地	千葉県四街道市山梨 1316-1
連絡先	電話 043-432-2797 FAX 043-432-9743
学校長名	小淵 隆志
設置年月日	平成10年 3月 24日
定員	介護福祉学科
1 学年	40名
2 学年	40名

学生数：61名 定員充足率76.2% (令和5年4月1日時点)

学科名	定員	学生数		定員充足率
		1 学年	2 学年	
介護福祉学科	40名	1 学年	2 学年	<b>76.20%</b>
現場実践コース		28	23	
社会福祉主事併修コース		3	7	
	各学年定員充足率	77.5%	75%	

退学者：1名

介護福祉学科	定員 40名	1 学年	2 学年
現場実践コース		1	0
社会福祉主事併修コース		0	0

\*退学者の理由：進路変更（日本人新卒）

令和6年度含む過去3年の充足率の推移

令和4年 64名 80.0%

令和5年 61名 76.2%

令和6年 70名 87.5%

### (5) 役員の概要

・定員数、現員数、氏名等、理事定数6名、監事定数2名

役員						評議員			
理事				監事					
選任区	寄附行為の該当条	定員	現員	定員	現員	選任区	寄附行為の該当条	定員	現員
校長・園長	6条1項1号	1人	1人	2人	2人	職員	2条1項1号	5人	5人
評議員	条項2号	2人	2人	-	-	園卒業生	条項2号	3人	3人
学識経験者	条項3号	3人	3人	-	-	学識経験者	条項3号	5人	5人
その他	条項号	人	人	-	-	その他	条項号	人	人
計		6人	6人	2人	2人	計		13人	13人

・役員名簿（令和6年3月末日現在）

理事会（6人+2人）		評議員会（13人）	
役職	氏名	役職	氏名
理事長	宇野 弘願	評議員	宇野 弘願
理事	宇野 法子	評議員	宇野 法子
理事	三木 智江	評議員	三木 智江
理事	山田 智子	評議員	山田 智子
理事	山崎 芳充	評議員	山崎 芳充
理事	青柳 安隆	評議員	小淵 隆志
監事	野中 芳徳	評議員	雲出 心
監事	愛 尚幸	評議員	佐藤 美紀
		評議員	津田 樹
		評議員	増茂 誠二
		評議員	佐藤 由紀子
		評議員	青柳 安隆
		評議員	石塚 光宣
任期	令和8年3月31日	任期	令和8年3月31日

(6) 職員概要 (令和5年4月1日現在)

学科等	員数	職種	常勤	非常勤
	1	学校長	1	
事務	1	事務長	1	
	2	事務員	1	1
	1	広報担当	0	
教務	3名以上	学科長	1	
		教員	2	
運転手兼営繕・掃除	3	職員	0	3

新規採用職員

	職種	氏名	採用年月日	備考
1	学科長	藤原 匡宣	令和5年4月1日	
2	事務長	伊東 孝幸	令和5年4月1日	
3	教務助手 ・学生生活支援員	小池 葵	令和5年11月11日	
4	運転手兼営繕	廣瀬 雅幸	令和6年1月11日	
5	運転手兼営繕	菊地 昇	令和6年1月11日	

退職職員

	職種	氏名	異動・退職年月日	退職理由他
1	運転兼営繕	石橋 滋	令和6年3月10日	体調不良
2	運転兼営繕	寺内 進	令和5年12月31日	転職
3	教務助手 ・学生生活支援員	小池 葵	令和6年3月31日	家庭の都合

「学校をよりよくするために自分に何ができるのか」を職員一人ひとりが常にそれを意識し、それを能動的に実践していける組織づくりに努めた。組織としての自立・自律を目指し、役割分担を明確にして組織の力を活かして最大限の運営パフォーマンスを実現できるような環境整備を行った。

\*学校の職員は、特に教員は教育に携わる者として自らが襟を正し、学生に対してリスペクトを忘れず、率先模範となる人材となることを心がけることを忘れずに教務に当たることとした。

## 2. 事業の概要

### (1) 研修関係

ハラスメント研修 令和5年 4月 3日 6名 千葉校 (ZOOM)  
接遇研修 令和5年 9月29日 2名 千葉校  
全国教職員研修会 令和5年10月27日 2名 群馬医療福祉大学 (ZOOM)  
介護教員講習会 令和5年 8月 ~ 令和6年3月 1名 介養協主催  
\*教員としてのスキルアップ、自己啓発及び研究心の向上のため専任教員に対しては働きながら大学院(淑徳大学大学院)への入学し社会福祉学修士の学位取得のための科目履修及び社会福祉学的な研究活動を行っている。特に、社会福祉主事コースの専任教員の資格要件である当該科目=社会福祉学における修士以上の学位取得が望ましい。

### (2) 備品関係

各部屋のカーテンの交換 令和5年8月25日納品

### (3) 学生獲得関係

#### 学校訪問活動

高等学校指定校：38校 4月～7月時期に2回訪問

\*実績校及び専門学校への入学検討者の多い学校

(偏差値30～50前後40位)

日本学校指定校：5校(内1校は下関:さくら国際言語学院)

ガイダンス16件(さんぽう)

募集媒体(反応件数)

ベスト進学ネット：158件

イトクロ：55件

ベネッセ：9件

その他(HP・マナビジョンなど)：86件 **計308件**

→ オープンキャンパス来校者数：156名

→ 受験者数：64名

→ 合格者数：40名(内1名辞退)・・・39名(日本人5名/留学生34名)

令和6年度の学生獲得にて39名(定員充足率97%)の確保が可能となった。

前年度より日本語能力の高い留学生の選抜による獲得が可能となった。

具体的には留学生については紹介・口コミによる獲得・主要日本語学校へのアプローチに入手ソースの確立ができたが、一方で日本人獲得のための訪問活動、ガイダンスへの積極参加及びネット募集媒体による募集活動を積極的に行ったが、結果的に留学生の比率高い在籍率となった。

#### (4) 地域貢献活動

##### 介護体験出張教室【介護キャラバン隊】

千葉県介護人材確保対策事業（補助金対象）による小中高生を対象にした介護の仕事の魅力を伝える介護体験教室の出張授業を実施

令和5年11月15日 四街道市立みそら小学校

令和5年12月15日 千葉市立有吉中学校

#### (5) 各種担当者

防火管理者・安全運転管理者（校長）：小渕 隆志

運行管理者兼整備管理者：廣瀬 雅幸

教育推進部長（学科長）：藤原 匡宣

生徒指導主事（専任教員）：江里 真明

進路指導主事（専任教員）：江里 真明

学校安全主事（専任教員）：高橋 多恵子

保健主事（専任教員）：高橋 多恵子

#### (6) 公的機関との連携

- ・千葉県介護福祉士養成校連絡協議会における千葉県代表校（会長校）として千葉県社会福祉協議会と連携し介護福祉士修学資金における制度上の課題について情報共有及び意見交換を行いながら制度改善の道筋を検討した。
- ・千葉県介護労働懇談会及び千葉県福祉人材センターの委員として現場における介護福祉養成施設としての現状や課題の報告を行い産・官・学の協働による介護人材確保の改善へ向けての意志疎通を行った。
- ・「千葉県福祉系高校人材育成コンソーシアム」（企業・行政・学校が一体となり相互連携して千葉県における福祉教育の向上を図り人材育成をしていく活動を行う機関）の令和6年の設置に伴い当校としても千葉県介護福祉士養成校連絡協議会の会長校として参加する方針を示した。
- ・地域の高等教育機関の大学との介護福祉・社会福祉分野での教育研究の協働を図った。教育研究連携機関：淑徳大学・国際医療福祉大学・群馬医療福祉大学

#### (7) レクリエーションの開催

（学生同士の懇親・モチベーションUP/思い出づくり）

1年生 歓迎会：令和5年4月26日 / 実習壮行会：令和5年6月27日

修学旅行（日帰）：令和5年11月30日

クリスマス会：令和5年12月19日 / 2年生送別会：令和5年3月12日

## (8) 車両

○赤バス（トヨタ コースター 千葉 200 さ 1334）

走行距離 114,563km

初年度登録 平成 15 年 12 月

○黄バス（三菱 ローザ 千葉 200 さ 2477）

走行距離 12,798km

初年度登録 平成 24 年 12 月

○ノア（千葉 300 ほ 5448）

走行距離 57,166km

初年度登録 平成 19 年 9 月

○ヴィッツ（千葉 503 の 6576）

走行距離 39,542km

初年度登録 平成 23 年 3 月

## (9) 施設等の状況

校庭に隣接していた「香華院」の解体工事を令和 5 年 8 月に実施

## (10) 令和 5 年度の成果

学校組織体制としては、学科長及び事務長の適正な配置により学校組織としての教務・事務に関する指揮・実務が系統立って行える組織を構築し、しっかりした組織運営が可能となった。

学習環境・設備は、明るく元気な雰囲気が生まれ、学校全体に活気を取り戻すことができた。担任制及び教務助手の配置により学生の状況に合わせて個別に相談がしやすい対応が可能となった。学校整備において、学校環境を明るくするための様々な対応（カーテンの取換・備品配置の変更・玄関ロビーの整備等）が実現できた。その他にも、スクールバスの安全運転管理の見直しを行い、運行状態の改善を行った。（現在 教務助手欠員）

## (11) 令和 6 年度の課題

令和 6 年の課題としては、専修学校及び養成校としての基準・規程及び労働基準法、学校衛生法、安全運転管理法及び介護福祉士養成校として運営基準など法令の完全なる遵守ができていのかどうか再度総点検を早急に実施する必要がある。また、健全な財政状態として事業収支活動が可能とするため支出をできるだけ抑制し、収入を増やす努力を行い昨年度の赤字から黒字転換を目指すことが必定。さらなる黒字転換を図る為、次年度に向けて学生の獲得に関して、令和 8 年度入学生からの介護福祉士国家試験の完全義務化にともない、日本語能力の高



い留学生の獲得及び日本人の獲得の必要性があり、2024年度のカレッジは留学生の比率が87%となっており、広報活動を拡大して広範囲にわたる留学生の獲得を目指していき日本語学校、養成校、受入施設の3者が一体となって優秀な学生を養成していけるような確実な育成プロジェクトを当校が中心となり形成したいと考える。

日本人では入学検討動機が、先生に紹介された、先輩がいるからなどが多く、自発的な進路決定に至らなかった学生が多い傾向にあり、学生獲得に関していかに社会的ニーズを拾い上げ、それらを解決できる学習環境を整えるかが課題と言える。また国家取得への意識が希薄であるが指導者は専門職養成の視点で関わることが多く、学生指導とのバランスが悪くなる体制からアプローチ方法の変更の必要がある。日数・時間割編成だけでの解決を図りがちであり、そこが入学者の学習レベルには対応できていない環境にギャップがあった。

一方、留学生は圧倒的に口コミによる入学検討者が多い。入学根拠が学費捻出や日本に滞在したいとの目的が優先され、その点においては設置目的や専門職の要請目的と乖離している傾向がある。

また専修学校、介護福祉士及び社会福祉主事養成機関として、専任事務の配置が義務付けられ実質的には専門的に高度な教務にも熟知した事務的な対応が求められるが、現在の実情として現職ではそのレベルは未達と言わざるを得ない。早期の教務事務と学校事務の専門職としての人材育成・確保が必要と考えられる。設備の老朽化に伴い、メンテナンスの必要なものも残存している。特にエアコンのメンテナンスを含めた整備は夏季の時期の学生の体調管理を含めて必要不可欠な課題。早急な雨漏りの補修改善を行う必要性あり。

## (12) 令和5年の課題を解決するための令和6年度重点実施事項

- ・令和7年度の3コース制の導入に伴い、その効果を最大限に活かす環境準備のため個別のニーズに合わせた相談及び指導力の強化、キャリア教育を含んだ相談支援体制の整備（社会的ニーズに合ったカレッジの教育的強みの創造）
- ・レイアウト・各部屋の用途変更（空き教室の活用）の実施（別添議案にて提案）
- ・カリキュラムの追加変更（必須科目に上乘せして教育の充実を図る）
- ・出願率をさらに引き上げ、競合他校との状況及び市況の分析を行い、入学検定料の見直しを実施（出願率を向上させ検定料の収益増額）
- ・学生獲得の重要性とコスト意識の認識を教職員の一人ひとりが持てる啓発。

**人件費の抑制：**非常勤が担当していた科目を専任教員で実施（8科目予定）

**消耗品の抑制：**余剰購入は避け、無駄な経費は抑制

**広報費：**学生獲得の生命線にて効率よく効果を上げるため予算計画通り実施

**奨学費増額：**指定校の価値を高めて、安易な免除を防ぐ（学生獲得上の調整）

### 3.未収金の状況

	対象人数	R6/3/31 現在未収額
・ 卒業生・退学者	0名	0円
・ 在校生	0名	0円